

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2019 - 20

- 1 ガバナーメッセージ
- 3 石川県にフェイスシールド1万個贈呈
ロータリー財団地区奨学金奨学生報告
- 4 例会出席報告、ハイライトよねやま
- 5 6月行事予定・R財団・R米山記念奨学会寄付者、
会員異動

ロータリー親睦活動月間



2019-2020 年度ガバナー

松本耕作



「手取峡谷」 © 白山市観光連盟

いよいよ月信最終号！今期は途中まではそれなりに順調だったようですが、3月以降は新型コロナウイルスの影響で前向きな活動がほとんどできなくなりました。特に4月13日に石川県と金沢市に緊急事態宣言が発出され、16日には日本全体に政府からの緊急事態宣言発出と同時に石川県は特定警戒都道府県に指定されて以降、ほとんどのクラブでは例会も開催されず、次年度の準備が遅れていることが懸念されます。これは人と人の直接の接触が控えられたからなのでしょうが、これが長期化するとしたら、我々はどのように対応したらよいのでしょうか？幸いにも5月14日に当地で解除、5月25日には全国的に緊急事態宣言は解除されましたが、再び感染第二波が発生しないか心配しているというのが実態ではないのでしょうか？私は、今は会員が強い気持ちを持つことが大切なのではないかと思えます。ロータリークラブが設立された頃のことを思い出してみてください。

ポール・ハリスは人の心が殺伐とした不況時のシカゴで、人と人とのつながりを求め、仲間とともにロータリークラブを設立し、奉仕活動を行うようになりました。現在では基本的に週1回例会を開催して、会員相互の理解を深め、会員間の親睦・信頼が高まり、奉

仕活動の実践に繋がっています。これが一つのパターンとすれば、例えばその根底にある相互扶助の考え方から、今回の新型コロナウイルスの影響で苦境に陥っている会員を支援することがあってもよいと思えます。要はクラブの中で議論して今必要と思われることを実行していけばよいのです。会費の減免（国際ロータリーや地区の人頭分担金を除く）や支払期限の延長などの必要な措置は、クラブの細則で決めることができる事柄の変更ですから、クラブでも対応が可能です。実際、地区では次年度は事業の縮小による地区人頭分担金の減額（当初一人当たり@16,100円から10,000円への地区予算の減額修正）や支払い期限の延長（7月・1月末から9月・3月末）の手続きを実行中です。この過程においても従来通りであれば開催される諮問

（次頁につづく）

国際ロータリー第2610地区
2019～2020 ガバナー事務所

2019-20 Governor 松本耕作

〒920-0025 金沢市駅西本町1丁目6番20号
シャインシティII 101号室

TEL 076-256-0918 FAX 076-256-0920

E-mail matsumoto2019-20@rotary2610.gr.jp

委員会や会長エレクトの会議の招集も物理的に難しく、どうやって決定するのとの議論もありましたが、パストガバナーにご理解を賜り、書面を中心に意見交換のできるWEB会議を開催しました。あとはクラブの皆様にもご協力いただき、クラブ会長エレクトと連絡を取って、クラブの承認をいただくだけの段階まで来ております。

このように本年度は月信をはじめとする情報の電子化を推進してはまいりましたが、「自分では操作が難しい」とか、「機器を持っていない」などといった声が多く聞こえました。しかし、クラブにお一人は機器や操作に長けた方がいらっしゃれば、その方にちょっとお願いしてWEB会議ができるような環境を準備しませんか？とにかく今は会員が集まって議論・決議することが難しいのであれば、早期に会員の意見を聞き、ものごとを決めていくことのできるシステムを作ることが肝要です。緊急事態宣言の解除で、単に元に戻るだけでなく、今回の経験を生かして、リスクを考慮した方法に変容していくことも、クラブという組織を維持していく観点からも大切です。

私はロータリーの活動にとって一番大切なことは、人と人の「つながり」だと思います。特に一緒に奉仕活動を実施した仲間とは、ある意味「戦友」のように固い絆で結ばれ、更なる高みに登っていけるものと考えています。コロナに負けるな！今は直接会えずちょっと不便を感じますが、あと少しの辛抱です。常に「一歩前進」を心にとめて前に進みましょう！できれば年度末の例会と年度初めの例会は、あらゆる方法を駆使

して何とか開催をして、「ご苦労様でした」「今年度もよろしく」と言えるような節目だけは何とか作りたいものです。地区研修協議会で八塚ガバナーエレクトにお渡しできなかったガバナーバッジは人知れず今月中にお渡ししたいと思います。「地区・ガバナーの最も大きな役割は奉仕活動の中心に位置するクラブを支援すること」との気持ちで活動を開始しましたが、年が明けたころから新型コロナウイルスの感染拡大により、十分な活動ができず申し訳ございませんでした。共に活動いただきましたガバナー補佐の皆様、各委員長を始め地区委員としてご尽力いただきました皆様に改めて感謝申し上げたいと思います。この1年間ご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。

追伸、5月上旬ゲーリー・ファン元RI会長（台湾）から青少年交換事業でまだ滞在している交換留学生に渡してくださいと委員長宛にマスクが送られてまいりました。感謝です。

さらに6月20日から26日まで「ロータリー2020バーチャル国際大会」と称してネット上で中止になった国際大会が開催されます。第1回本会議は、6/20（土）22:00-23:15 6/21（日）04:00-05:15 6/21（日）11:00-12:15（いずれも日本時間）で3回おこなわれるほか、分科会なども開催されます。詳細はMy Rotaryに説明がありますので、是非ご覧下さい。

※このメッセージは5月25日の現状に基づいて執筆しました。それ以降、状況の変化があった場合には対応できておりません。ご容赦下さい。

石川県にフェイスシールド1万個贈呈

4月13日、石川県と金沢市に緊急事態宣言が発出されたその日、愛知の国際ロータリー2760地区の伊藤ガバナーから、不足が懸念されているフェイスシールドを安価でまとめて製作する目途がたったので、全国的なフェイスシールド贈呈プロジェクトに参加しませんか?との案内をいただきました。医療従事者に対する感謝と感染リスク軽減の観点から、早速、翌日金沢市医師会に現況をうかがう一方、金沢市内の8RCの会長とも相談させていただき、最終的には石川県に10,080個のフェイスシールドを贈呈することになり、翌14日に発注いたしました。全国で50万個を超える注文があり、部品不足なども重なり、緊急事態宣言解除後とはなってしまいました

が、5月22日石川県庁に出向き贈呈式を行いました。資金を拠出していただいた金沢8RCの会員の皆様、連休中も休みもなく製作いただいた(株)フカオ・レーシャル・コーポレーションの社員の皆様、ご紹介いただいた2760地区伊藤ガバナーはじめ、プロジェクト実施にあたって関与いただきましたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。



北野石川県健康福祉部長に目録を贈呈

実はこの続きがございまして、日本より海外（フィリピン・マレーシア・ペルー・ブラジル）に寄贈すべく、当地区としてもグローバル補助金枠 US \$10,000 を使用してプロジェクトに参加、マレーシアにフェイスシールドを寄贈する予定です。

(ガバナー 松本 耕作)



金沢8RCの代表とともに記念撮影

ロータリー財団地区奨学金奨学生報告

スウェーデン留学4回目の活動報告をさせていただきます。

3月末からはコロナの影響で授業はすべてオンラインで行われています。3月、4月はGlobal Public Health というコースで、今まさに起きているパンデミックや、発展途上国での健康問題について、



3月始めにクラスみんなで自然の中にあるコテージで合宿をした時の写真です。

その背景にある理論も含めてSustainable Development Goals と関連づけて勉強しました。国際保健を勉強したのはこのコースが初めてだったのですが、この約1年間に学んだ分野の中で一番興味深く、毎回の授業がとても面白かったです。今年5月に入ってから Development Organisations and Programme Management というコースで、国際開発のプロジェクトを作る過程や、そこに関係する実際の仕事内容、組織理論、チームマネジメントなどについて勉強しています。平日も土日も授業やグループワークで埋まってしまうほど大変なコースで



報告者 島田 瞳

ですが、その分得るものも多いと思ひ頑張っております。

これで報告書を書かせていただけるのも最後になってしまうと思うととてもさみしいですが、この約1年間の留学は本当に充実していました。つらいことも、悔しいことも、楽しいことも、嬉しいこともたくさんあって振り返ってみるとたった約1年間だったとは思えないくらいです。海外の大学院で勉強するという夢がかなってとても嬉しいです。この留学でたくさん成長して将来海外で国際開発・支援の分野で活躍するという次の自分の夢に大きく近づけているのは皆様のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。

<プロフィール>

昨年3月に金沢大学経済学類を卒業。

昨年8月末からスウェーデンの Lund 大学で国際開発・マネジメントを学ぶためロータリー財団地区奨学金奨学生として留学中。

例会出席報告（4月分）

2020年4月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減
富山第1分区	朝日	65.22		72.92	44	23	23	0
	黒部中央	77.77		70.70	53	10	10	0
	入善	-		77.15	40	25	28	3
	宇奈月	58.33		69.16	55	6	6	0
	魚津	52.17		55.99	63	17	25	8
	魚津西	69.23		71.55	52	29	27	-2
	7 R C	59.26		72.05	47	28	28	0
富山第2分区	越中八尾	63.66		69.93	9	138	147	9
	上市	95.00		94.79	4	21	21	0
	立山	65.00		67.04	57	20	20	0
	富山	-		74.99	48	16	17	1
	富山シティー	-		67.07	58	101	93	-8
	富山南	-		58.02	62	81	81	0
	富山みらい	-		64.19	60	56	58	2
	富山中	-		74.35	43	76	76	0
	富山西	-		82.10	35	59	56	-3
	富山大手町	-		92.71	8	61	63	2
富山第3分区	10 R C	-		73.76	46	54	51	-3
	射水	80.00		74.90	8	545	536	-9
	東とみなみ	-		87.93	21	31	32	1
	新湊	85.71		84.44	20	18	15	-3
	新湊中央	-		80.11	36	45	44	-1
	高岡	-		76.27	42	14	13	-1
	高岡万葉	-		100.00	2	73	76	3
富山第4分区	砺波	-		94.95	5	64	64	0
	7 R C	-		86.30	19	52	53	1
	氷見	85.71		87.14	1	297	297	0
	氷見中央	80.49		81.52	27	42	42	0
	南砺	93.33		53.21	64	15	15	0
	小矢部	-		87.88	17	45	49	4
	小矢部中	93.24		89.35	9	37	37	0
富山第5分区	高岡北	89.88		92.42	7	45	45	0
	高岡西	-		83.52	26	39	37	-2
	7 R C	-		100.00	2	50	48	-2
	富山小計	89.24		83.98	2	273	273	0
	富山小計	79.65		78.99		1,253	1,253	0

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減
石川第1分区A	河北	-		82.23	33	23	22	-1
	河北南	-		71.94	54	26	26	0
	金沢	-		90.12	16	131	134	3
	金沢東	-		84.35	23	104	101	-3
	金沢香林坊	-		79.54	37	114	117	3
	金沢南	-		84.74	22	58	58	0
	6 R C	-		82.15	4	456	458	2
	白山	72.22		71.64	49	36	38	2
	白山石川	81.25		80.07	30	35	34	-1
	金沢百万石	67.74		73.34	41	37	37	0
石川第1分区B	金沢北	-		72.96	50	44	42	-2
	金沢みなと	-		81.10	12	47	47	0
	金沢西市	59.57		78.97	32	51	49	-2
	野々	83.78		82.87	28	41	41	0
	7 R C	72.91		77.28	7	291	288	-3
	加賀	78.18		90.03	10	62	64	2
	加賀中央	86.21		87.09	14	31	30	-1
	加賀白山	93.33		88.56	15	25	30	5
	小松東	77.08		78.42	38	53	51	-2
	小松	-		74.58	51	34	33	-1
石川第2分区	小松シテイ	-		71.78	56	35	35	0
	能美	-		88.72	18	54	52	-2
	山中	-		63.59	61	22	22	0
	8 R C	83.70		80.34	6	316	317	1
	羽咋	-		91.22	13	26	33	7
	中能登まほろば	-		80.39	34	17	16	-1
	中島	70.00		79.67	31	9	10	1
	七尾	-		79.08	39	48	47	-1
	七尾みなと	-		81.82	29	50	50	0
	石川第3分区	志賀	88.89		82.32	24	17	19
富来		60.00		72.45	45	14	15	1
7 R C		72.96		80.99	5	181	190	9
穴水		77.26		82.21	25	15	13	-2
能都		100.00		87.78	11	40	40	0
珠洲		82.35		89.75	1	18	18	0
内浦		61.46		65.53	59	18	19	1
輪島		85.00		93.06	6	28	30	2
5 R C		81.21		83.66	3	119	120	1
石川第4分区		石川小計	85.05		80.89		1,363	1,373
	64RC合計	78.67		80.04		2,616	2,626	10

※例会開催回数に差があるため、今回の当月順位は明記していません。

ハイライトよねやま 今月のトピックス

- ・第4代よねやま親善大使が決定！
 - ・オンラインで奨学生と交流！— 東京米山友愛 RC —
 - ・寄付金速報 — 減少幅広がる —
 - ・学友によるマスク支援続々
- [在宅勤務期間延長のお知らせ]

※ぜひ PDF 版もご覧ください。

PC から →
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight242_pdf.pdf

スマホから →
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/blog/news/2020/detail_17840.html

6月行事予定

6月 <ロータリー親睦活動月間> 2019-20 年度予定				
4日	(木)	第3回ガバナー会議	リモート	13:00～15:00
13日	(土)	第4回地区財務・監査合同委員会		13:00～15:00
2020-21 年度予定				
未定		地区会員拡大・増強委員会		14:00～17:00
27日	(土)	第3回地区次期戦略計画策定特別委員会	ホテルニューオータニ高岡	
28日	(日)	地区国際青少年交換委員会 クラブ国際青少年交換委員長会議		
下旬		次期地区社会奉仕委員会		

予定が変更される場合がございます。予めご了承ください。

R 財団寄付者

使途指定寄付

金沢北 ポリオプラス 4月21日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小松 数左 従光 4月27日 2回

ポール・ハリス・フェロー

越中八尾 竹島 博幸 4月 3日

射水 笹川 征一 4月14日

R 米山記念奨学会寄付者

米山功労者 マルチプル

小松 数左 従光 4月27日 2回

米山功労者

射水 藤岡 啓一 4月14日 1回

金沢百万石 宮永満祐美 4月24日 2回

金沢西 小林 大祐 4月15日 1回

米山特別寄付

米山功労法人

高岡 北一株式会社 室崎 靖 4月28日

米山特別功労法人

野々市 株式会社まるより 瀬村隆治 4月 3日

会員異動

《入会》

魚津 春海 智広 4月 1日
富山中 武田 学 4月 1日
富山中 古屋 里恵 4月 2日
砺波 長森 浩一 4月 6日
砺波 上野 貴紹 4月 6日
砺波 木村 吉秀 4月 6日
白山 大黒 友理 4月 7日
白山 本保 和之 4月 7日
野々市 大西由紀子 4月 1日
加賀白山 濱田 和也 4月 7日
小松 水口 慶彦 4月 2日

能美 上野 剛 4月17日
内浦 林 義勝 4月 1日

《退会》

宇奈月 中島 勝喜 4月 8日
宇奈月 坂井 守 4月 8日
魚津 仙丸 和幸 3月31日
富山みらい 村杉 正夫 3月31日
高岡 水持 雅芳 4月30日
砺波 水上 幸俊 4月30日
高岡北 水上 豊治 4月20日
金沢 仲谷 弥 4月 1日
金沢 千葉 博之 4月 1日
金沢 徳山 康彦 4月 8日
金沢 上原 孝一 4月 8日
金沢東 市川 元久 4月 6日
金沢東 諸江 賢二 4月 5日
金沢北 渡邊 尚孝 4月30日
金沢西 馬場 陽司 4月20日
野々市 嘉門 玲子 4月30日
小松 村中 將起 4月 1日
小松 嶋田俊一郎 4月30日
能美 山森 一喜 4月17日
中能登まほろば 藤本 勲 4月30日

ご冥福をお祈りいたします



濱井 弘利 会員
金沢北RC
2020.4.7(享年77歳)
株式会社環境商代表取締役会長
ロータリー歴23年



斉藤 浩 会員
小松RC
2020.4.23(享年54歳)
㈱斉藤印刷 代表取締役
ロータリー歴11年
2013-14年度 地区副幹事
2018-19年度 クラブ幹事

表紙の写真

手取峡谷

手取峡谷は、手取川の流が作りあげた美しい峡谷です。釜清水（黄門橋）から河原山（対山橋）までの約8キロの長さがあり、高さ20～30メートルの絶壁が続く峡谷です。交通アクセスとしては金沢駅/北陸鉄道バス/60分/黄門橋もしくは不老橋下車/徒歩/5分か白山ICから車で50

分となります。手取峡谷に架かる黄門橋からはもっとも狭い川幅の手取峡谷を見ることができ、霊峰白山も同時に見ることができます。



編集後記

この第12号が、松本ガバナー年度のカバナー月信最終号となります。この1年間、PDF配信にチャレンジさせていただきました。そのため、会員の皆様・クラブ事務局の皆様には新たなご負担をお掛けする場面もあったかと存じますが、皆様のご理解とご協力で全うすることができました。

PDF配信についての皆様からの評価はガバナー月信第9号掲載の通りと存じますが、編集担当者として申

し上げるならば「記事量の増加」「事業実施から月信掲載までの期間短縮」という効果があったのは間違いないと考えております。

言うまでもなく、ガバナー月信は松本ガバナーを始め、多くの方々の寄稿があって発行することができる媒体です。この誌面をお借りし、寄稿していただいた全ての皆様に心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、編集作業を支えていただいた事務局の中村さん、田村さん、加えて、データ作成作業を依頼した印刷会社の小出さん他社員の皆様に感謝の気持ちを表し、1年間の編集後記といたします。

ガバナー月信担当 地区副幹事 吉田 克也（金沢 RC）